



# CITY & LIFE

都市のしくみとくらし

No. 51 Spring 1999

特集

ヒトが集まる、まちがにぎわう…集客都市へ

# 特集 ヒトが集まる、まちがにぎわう…集客都市へ

2000年までに大規模小売店舗法が廃止され、代わって大規模小売店舗立地法が施行されます。

大規模小売店舗立地法の特徴は、店舗面積、閉店時間、休日日数などの審査項目が調整対象から外されたことです。

その代わりに自治体が「地域の生活環境の保全」の観点から、交通渋滞、駐車場、騒音、廃棄物などの問題を審査し、

これに合わせて改正される都市計画法と連動させ、

地域の事情に応じて独自の特別用途地域を設定できるようになりました。

一方、90年代から顕在化してきた中心商店街の衰退に伴う都市の空洞化に対して、

「中心市街地活性化法」により、省庁が連携してその活性化を総合的に支援する方向が打ち出されました。

そうした大きな変革期を迎える中で、商業施設をコアにした新たなまちづくりが進行しています。

事例を交えながら、商業施設を中心とする都市再生の道を探ります。



## Contents

No. 51 Spring 1999

まちづくり三法と中心市街地の活性化 日端康雄	2
集客都市へ…商業施設は都市再生の起爆剤になりうるか	8
ケーススタディ 商店街新世紀	16
ケーススタディ 次世代型複合施設	21
ケーススタディ 大阪・あそびからのまちづくり	25
都市再生。タウン・マネージメントの視点から考える	30
商業機能の進化…アメリカの小売業の試み 舟本秀男	37
連載 都市を拓いた人々 29 徳島	43
バックナンバーのお知らせ	49